



助成:文化芸術振興費補助金(トップレベルの舞台芸術創造事業)

モーツァルト室内管弦楽団

第154回定期演奏会

《ベートーヴェン・シリーズ》第3回

ベートーヴェン◆《エグモント》序曲 Op.84

ロマンスト長調 Op.40、ヘ長調 Op.50

交響曲 第3番 変ホ長調 Op.55 《英雄》



ヴァイオリン: 菊本 恭子

L.v. Beethoven



指揮: 門 良一

*Ryoichi Kado &
Yasuko Kikumoto
mit dem Mozart-Kammerorchester*



モーツァルト室内管弦楽団

2013. 7/6 (土)

いずみホール

2:00pm開演 (1:30pm開場)

入場料: 一般 ¥5,000 (指定席) / 学生 ¥1,000 (当日限定数発売)

*小学生よりご入場いただけます。

JR環状線「大阪城公園」駅から3分、「京橋」駅から7分、
地下鉄長堀鶴見緑地線「大阪ビジネスパーク」駅から5分。
有料駐車場完備

主催◆モーツァルト室内管弦楽団 <http://www.hi-ho.ne.jp/mozart/> 協賛◆いずみホール [財団法人 住友生命社会福祉事業団]

マネジメント◆大阪アーティスト協会 TEL.06-6135-0503 FAX.06-6135-0504 〒530-0041 大阪市北区天神橋2-5-25-909

前売

大阪アーティスト協会 050-5510-9645 (電話受付: 平日10~18時) いずみホール 06-6944-1188 電子チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード: 196-628)

ローソンチケット 0570-084-005 (Lコード: 54464)

※当日会場では大阪ユニセフ協会を通じて、東日本大震災被災地の子どもたちのために募金活動を行います。



門 良一指揮 モーツァルト室内管弦乐团による 〈ベートーヴェン・シリーズ〉、大好評!

一昨年、門 良一／モーツァルト室内管弦乐团が満を持して開始した〈ベートーヴェン・シリーズ〉は第1回に引き続き第2回も大好評を得ました。このコンビが得意とするモーツァルト、ハイドンの延長上にある古典美あふれるベートーヴェン、そしてまたこのコンビの新しいレパートリーである前期ロマン派につながるロマンに満ちたベートーヴェン、この両者をあわせ持った魅力的な新しいベートーヴェンの演奏が実現しています。シリーズは年1回のペースで全7回の予定ですが、今回はいよいよ最高傑作《英雄》の登場です。

モーツァルト室内管弦乐团／指揮・門 良一 Mozart-Kammerorchester Japan / Ryoichi Kado, Dirigent

1970年に指揮者 門 良一によって設立され、40数年間一貫して30数名のメンバー構成を維持するわが国では数少ない本格的プロ室内オーケストラである。レパートリーはモーツァルト、ハイドン、ベートーヴェンを中心とした古典派からバロック、前期ロマン派に及び、最近ではフランス近代の作品にも手を伸ばしている。モーツァルトに関しては交響曲と協奏曲の全曲を演奏した日本唯一のオーケストラであり、創立当初から新モーツァルト全集に準拠した楽譜を使用していることは注目に値する。'91年のモーツァルト没後200年に際しては2年にわたり記念シリーズを催し、なかでもモーツァルトの予約演奏会プログラムを完全に再現した日本初の企画は大いに話題を呼んだ。演奏スタイルは中規模編成の特色をフルに生かしたもので、的確なテンポ、明快なリズム、清澄なサウンドは定評のあるところである。関西一円で演奏活動を展開するなかで'90年からは大阪いずみホールをに年6回の定期演奏会を開催し、また'74年からは東京定期演奏会を隔年で開催し、既に16回を数えている。海外では'88年にはドイツ民主共和国文化省の招聘による旧東独国内への演奏旅行を成功させている。内外の著名アーティストと数多く協演しており、なかでもマリア・ジョアオ・ピリス('85、'87年)、シブリアン・カツァリス('93、'94年)、ペーター・ダム('83、'86、'88、'98、'00年)、ウィーンフィル木管アンサンブル('86年)、ライナー・キュッヒル('90年)らとの名協演はいまも語り草となっている。'91年に姉妹団体、モーツァルト記念合唱団を誕生させ宗教曲などで活発に協演するほか、'93年には堺シティオペラとの協力による〈モーツァルト・オペラシリーズ〉を開始し、いずれも好評をもって迎えられている。'06年1月にはモーツァルト生誕250年記念特別企画としてオペラ《イドメネオ》の世界初オリジナル・ノーカット版演奏会形式上演を挙行し絶賛を浴びた。「素晴らしい成果」(毎日新聞)、「この楽団は注目」(朝日新聞)。2007～9年には全10回にわたる〈没後200年記念ハイドン・シリーズ〉を、2009～11年には全18回にわたる〈創立40周年シリーズ〉を開催。また2010年からは〈ベートーヴェン・シリーズ〉を開始している。

菊本 恭子(ヴァイオリン) Yasuko Kikumoto, Violin

4歳からヴァイオリンを始める。全日本毎日学生音楽コンクール西日本の部入選。神戸女学院大学音楽学部卒業。ハンナ・ギュリック・スエヒロ記念賞受賞。同大学音楽専攻科修了後、ドイツ、イタリアはじめ国内外の音楽祭にて研鑽を積み、G.ボッセ、S.ガブリロフ、F.メツェーナ、O.クリサの各氏のマスタークラス修了。これまでブルガリアトルブーヒン室内オーケストラ、エカテリーナ宮廷室内オーケストラ、クライストチャーチ室内オーケストラ、モーツァルト室内管弦乐团、エウフォニカ管弦乐团など海外、国内のオーケストラと共演し、ヴィヴァルディ「四季」、バッハ、ハイドン、ベートーヴェン、メンデルスゾーン、チャイコフスキーなど数々のヴァイオリン協奏曲のソリストを務める。'99年大阪府芸術劇場奨励新人賞を受賞し、'00年、'04年いずみホールにてリサイタル開催。'13年中央電気倶楽部にて「音故知新」～ヒナステラ没後30年記念デュオリサイタル～開催。'97年～'03年、神戸女学院大学音楽学部非常勤講師。現在、演奏活動の傍ら、神戸女学院教育文化振興めぐみ会音楽教室講師、神戸女学院大学音楽学部オーケストラ要員として後進の指導にも力を注いでいる。これまでに高瀬乙慈、亀田美佐子、(故)東儀祐二、(故)田中千香士、稲庭達、辻井淳、V.パラシケヴォフの各氏に師事。日本弦楽指導者協会、神戸フォーレ協会、神戸音楽家協会、枚方演奏家協会、各会員。